

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る

重要情報シート（個別商品編）

1.商品等の内容（当社は、お客様に上場有価証券の売買の取次ぎを行っています）

金融商品の名称・種類	国際のETF VIX短期先物指数（1552）
組成会社（運用会社）	三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品の目的・機能	基準価額の変動率を、円換算したS&P 500 VIX短期先物指数（S&P 500 VIX Short-Term Futures Index Total Return）の変動率に一致させることを目指して運用を行います。
対象指標の概要	S&P 500 VIX短期先物指数とは、CBOE先物取引所（CBOE Futures Exchange）に上場されているVIX指数先物の第1限月と第2限月をロールオーバーした場合のリターンを指数化したものです。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	大きな元本割れリスクを許容する投資家向けです。短期的な投資に活用いただくことが望ましいと考えられます。また、中長期的な投資（バイ・アンド・ホールド）には向きません。
パッケージ化の有無	ありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。
次のようなご質問があればお問い合わせください	<ul style="list-style-type: none"> ・あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠はなにか。 ・この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。 ・この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べてどのようなメリット・デメリットがあるのか。

2.リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容 ※ 右記に限定されるものではありません。	株価変動リスク：VIX指数先物や組入債券の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。なお、一般的に、対象指数の値動きは株式市場の値動きとは異なり、また、その変動幅は大きい傾向にありますので、十分ご注意ください。
	為替変動リスク：投資している有価証券等の発行通貨が円に対して強く（円安に）なれば当ファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く（円高に）なれば当ファンドの基準価額の下落要因となります。
	当ファンドは、相場の先行きに不確実性が高まる局面では短期的な「ヘッジツール」として期待される一方、中長期的には時間的価値の減価などによる影響を受ける傾向があると考えられます。
	当ファンドは、中長期的には減価する傾向があります。VIX指数が変動を繰り返して元の水準に戻った場合でも、VIX先物指数やファンドの基準価額が元の水準に戻るとは限りません。
	その他、信用リスク、流動性リスク、制度変更等に関するリスクがあります。
〔参考〕 過去1年間の収益率	-10.82%（2022年8月）
〔参考〕 過去5年間の収益率	平均 -29.10% 最低 -78.79%（2021年6月） 最高 72.96%（2018年12月） （2017年9月～2022年8月の各月末における直近1年間の数字）

交付目論見書参照箇所（リスクと運用実績）	損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「運用実績」に記載しています。
次のようなご質問があればお問い合わせください	<ul style="list-style-type: none"> ・上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。 ・相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3.費用（本商品の購入または保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用（販売手数料など）	国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。（上場有価証券等書面に記載しています。）
継続的に支払う費用（信託報酬など）	税込み年0.3960%以内
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。（2022年2月16日現在）
次のようなご質問があればお問い合わせください	<ul style="list-style-type: none"> ・私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。 ・費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4.換金の条件（本商品を換金する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の信託期間は、当初無期限でしたが、繰上償還が決定した場合、2024年2月14日までとなります。	
この商品を売却する場合には、国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。（上場有価証券等書面に記載しています。）	
※本商品を換金する場合、一般的には、金融商品取引業者等を通じて、取引所市場で売却することになります。	
次のようなご質問があればお問い合わせください	・私がこの商品を換金するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。



5.当社の利益とお客様の利益が反する可能性

当社は、この商品の組成会社等と資本関係等の特別の関係はありません。	
当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。	
※利益相反の内容とその対処方針については、「利益相反管理方針」をご参照ください。 http://www.banyo-sec.co.jp/pdf/riekisouhan.pdf	
次のようなご質問があればお問い合わせください	・あなたの会社が高得手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6.租税の概要（NISA、つみたてNISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

時期	項目	税金
分配時	所得税、復興特別所得税及び地方税	配当所得として課税 収益分配金に対して20.315%
売却時、換金（解約）時及び償還時	所得税、復興特別所得税及び地方税	譲渡所得として課税 売却時、換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%
この商品はNISAの対象商品です。つみたてNISAの対象商品ではありません。iDeCoでのお取り扱いはありません。		

7.その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

当社の「上場有価証券等書面」 	組成会社が作成した「目論見書」 
---	--

上記「上場有価証券等書面」及び「目論見書」につきましては、ご希望があれば、書面でお渡しします。

※ 委託会社は「国際のETF VIX短期先物指数」につきまして、繰上償還および当該繰上償還にかかる投資信託約款の重大な内容の変更を行うべく、書面決議の手続きを行うことを決定いたしました。くわしくは、目論見書の「追加的記載事項」をご確認ください。